



青森県議会 ニュースレター

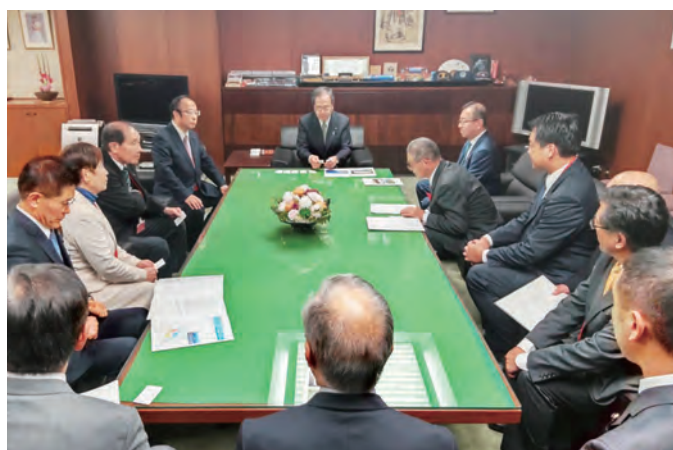
2024
新年号



洋上風力発電基地港湾 指定と施設整備を 国土交通大臣へ要望

青森県議会建設委員会の一員として国土交通省に齊藤鉄夫大臣を表敬し、洋上風力発電基地港湾として青森港を指定し、必要な係留施設整備を国直轄事業として令和6年度から着手するよう要望しました。

また令和13年度完成に向け進められている駒込ダム建設事業をはじめ、防災・減災、国土強靱化と持続的な経済成長の実現に必要な予算確保を求め、5項目にわたる要望書も手交しました。



伊吹 信—プロフィール

会派 公明党所属
建設委員会委員
新幹線・鉄道問題対策特別委員会委員
青森県防災士会相談役 防災士
2級知的財産管理技能士 経営士
温泉観光士 温泉保養士 温泉入浴指導員
<http://www.ibukista.com/>

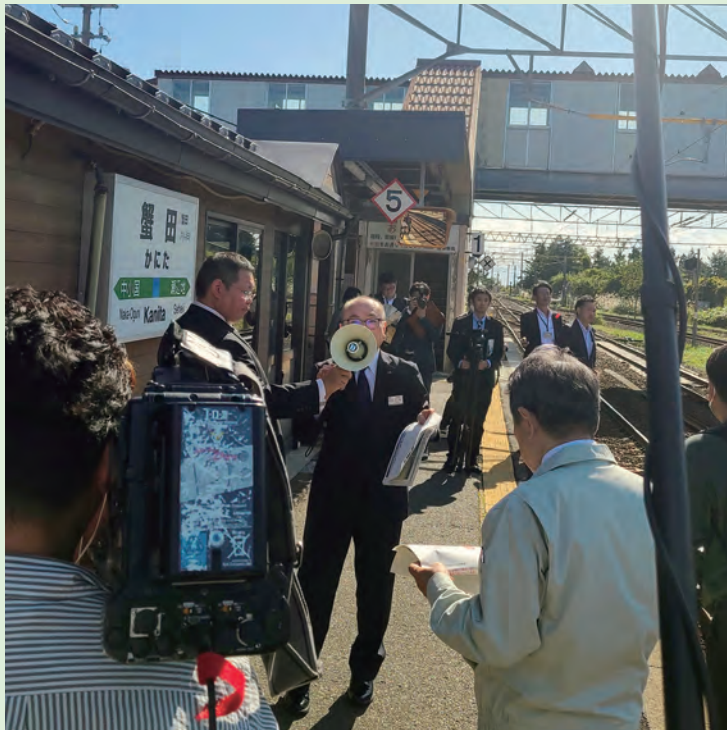
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
青森県議会議員

いぶき信



持続可能な産業基盤の強化を！

東京電力福島第一原子力発電所処理水海洋放出による水産業界への影響調査のため、青森県漁業協同組合連合会(二木春美代表理事長)、平内町漁業協同組合(三津谷廣明代表理事組合長)、野辺地町漁業協同組合(山懸勝彦代表理事組合長)を表敬意見交換したほか、ホタテ加工会社3社の経営者から中国による水産物輸入停止による影響と要望をお聞きしました。また高水温によりホタテ貝をはじめ水産物の深刻な斃死実態についても調査を実施しました。



地域の維持存続に直結する公共交通を考えよう！

一昨年8月の豪雨災害により不通となっている津軽線の課題を探るため、「県議会新幹線・鉄道問題対策特別委員会」の調査が行われました。バス代行輸送の起点となっている蟹田駅でJR東日本から説明を受けた後、外ヶ浜町内の会場で今別町、外ヶ浜町からそれぞれの検討内容をお聞きしました。

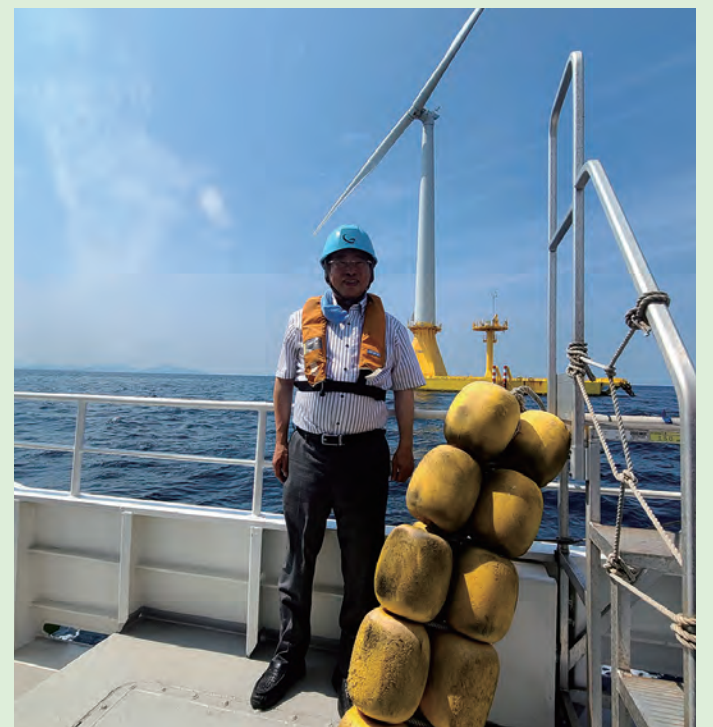
全国では鉄道廃止に伴うバス輸送への転換後、バス路線の維持が困難となり公共交通が失われる事例が大きく報道されています。いったん廃



止された鉄道輸送の再開はほぼ不可能と言えます。公共インフラの要として地方を支えてきた鉄道輸送の廃止の是非は、多大な影響を及ぼすだけに、結論を急ぐことなく地域の維持存続に向け、先進事例調査も踏まえながら丁寧な合意形成に努めるべきです。

風況の優位性を産業振興に！

地球温暖化対策として国が導入を促進している洋上風力発電事業の優位性と課題を探るため、北九州市沖合で実証運転が行われている浮体式洋上風力発電施設を調査してきました。バージ型浮体構造体にドイツ製のコンパクトな2枚翼アップウィンド型風車を搭載した3メガワットの発電施設です。浮体構造体に魚が棲みつく魚醬の機能を確認できました。漁業者と連携した漁業振興を図る等、地産地消型産業の可能性を感じました。今回の調査を踏まえ、風況に恵まれた青森県の優位性を津軽半島や下北半島沖での洋上風力発電事業に繋げて参りたいと思います。





化学物質過敏症 対策を要望!

芳香剤や柔軟剤、消臭剤などに含まれる化学物質を原因とする「化学物質過敏症」に関心が寄せられています。重症化すると仕事や家事ができない学校へ行けないなど、日常生活を営むことが困難になる深刻な病気です。診断基準や治療法が確立されていない為、受診できる医療機関に限られるなど対策の遅れが指摘されています。

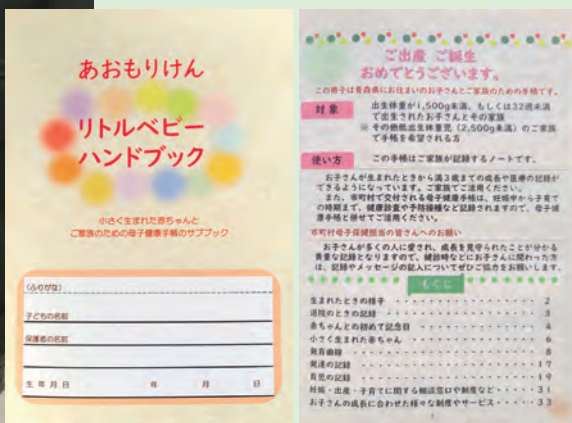
「化学物質過敏症」により日常生活に支障を抱えている患者への支援と意識啓発を求め、CFS(慢性疲労症候群)支援ネットワーク(石川真紀会表)の代表の皆さまとともに県知事及び県教育長宛に要望書を提出しました。



青森県がリトルベビーハンドブックを作成

近年増加傾向にある2500グラム未満の低出生体重児とその保護者を支援して欲しいとの国際母子手帳委員会からの要請を踏まえ、私は母子健康手帳のサブブックとして「リトルベビーハンドブック」の作成を青森県に

求めてきました。その結果、青森県は初めてリトルベビーハンドブックを作成し、10月17日に県知事より青森県リトルベビーサークル「ULu(ウル)」の代表者へ手交されました。



私学支援拡充と実態調査を県に要望

一昨年8月の豪雨災害や物価高騰等の影響により、学費を3ヶ月以上滞納する生徒が増加し、経済的理由により私立高校を退学せざるを得なくなった生徒も増加しています。家庭の経済的理由でアルバイトを余儀なくされている生徒も多くいます。このため青森県私学をそだてる会(清野秀美会長)の皆さまとともに、「私立高等学校等就学支援費補助制度」の拡充ほか3項目にわたる要望書を県知事に手交しました。全ての子どもたちが学びたい学校で、経済的な心配なく学ぶことができる環境づくりを進めて欲しいとの1,907枚の子どもたちからの要請ハガキも添えられました。

特に多子世帯の経済的負担が顕著なことから、私立高校に通う生徒の学費滞納や中退の実態を把握する必要があるため、調査の実施についても県に要望しました。子育てや教育の支援の充実を図ることは未来の青森県を豊かにすることに繋がります。これからも支援の充実に努めて参ります。





排雪計画の公表開始!

青森県での快適な暮らしを一年を通じて実現するには、降雪期間の安全対策が欠かせません。私が実施した県民へのアンケート調査の結果、国や県、市町村が管理する道路の除排雪情報への県民ニーズの高さを実感しました。除排雪計画を県民に公表し、県民の理解と協力を得る県民との協働の必要性を県議会で訴え続けてきました。

私が県に提案していた排雪計画の情報を事前に公表する試行的取組が、青森市と東津軽郡で始まりました。青森県道路課のX(旧ツイッター)公式アカウント@kendo_douroiにお知らせをアップしています。また「青森みち情報ホームページ」の中段にある「排雪計画(県)」のバナーから公表ページで詳しい情報を確認することができます。県民の皆さまに安心を感じて戴けるよう、青森県内各地への拡充に引き続き取り組んで参ります。



令和5年度
排雪作業予定 QR

豪雨災害の教訓を踏まえ 安全対策を強化!

青森県道281号三厩停車場竜飛崎線(通称あじさいロード区間)で、この冬から大規模自然災害発生時の避難路確保を想定した青森県と外ヶ浜町との協働による取組が始まりました。一昨年8月の豪雨災害を踏まえ避難道路確保を求める住民の声を実現したものです。4箇所の集落から町がアクセス道路を確保し、あじさいロードに結節するそれぞれ4箇所に県が避難できる滞留場所を確保しておく取組です。



ETCレーン運用始まる!

昨年12月19日に「みちのく有料道路」料金所でのETCレーン運用が始まりました。私は、みちのく有料道路料金所の渋滞緩和をを求める利用者のご要望を県に伝え、ETCレーン導入を要望して参りました。物価高騰や資材調達の課題もあり、一年ほど遅れて運用が開始されました。ご要望が多かった「第二みちのく有料道路」につきましても、ETCレーン運用に向け手続きが進められることになっています。



青森県議会 公明党
県議会議員 伊吹信一

TEL 017-734-9816 / FAX 017-722-6148 / URL <http://www.ibukista.com/>

発行者・連絡先



@ibuki_shinichi



@xvj9802x



@IBUKISHINICHI



いぶきあふれる青い森
youthful energy makes the new age of aomori